

川は

1997年に河川法が改正され、市民の意見がより反映される河川行政になったと言われるが、実態はあまり変化がなく、市民と河川の距離は依然としてあり、流域市民の合意形成の中で、「豊かな流れで、生活を潤す川」といった実感が持てないままとなっている。このような中で、川と人のかかわりについて、考え、行動するきっかけとしての「川のシンポジウム」を開催します。参加は無料です。どしどしご参加ください。

PROGRAM

「川辺川の過去から未来」

福岡 賢正さん
〈毎日新聞〉

「淀川水系流域委員会で培ったもの」

今本 博健さん
〈京都大学名誉教授〉

「隠れた砂防ダムの功罪」

田口 康夫さん
〈溪流保護ネットワーク〉

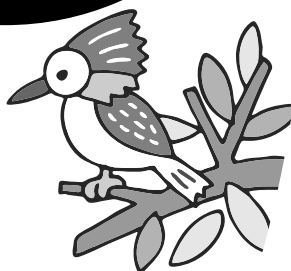
パネルディスカッション

「私たちが変える公共事業」

誰のものか

「川は誰のものか」。川をめぐる、政・官・業・学 of 癒着構造に苦しみもがく中で、新たな光の道を見つけましょう。光り輝く、豊かな川を市民が取り戻すために。

川のシンポジウム2008
私たちが変える公共事業



《共催》子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る福岡の会
球磨川からすべてのダムをなくして、アユの大群を呼び戻す会

《問い合わせ》川辺川を守る福岡の会・事務局／松原
TEL&FAX 092-332-3860 (夜は20:00まで)

●この企画運営には、パタゴニア・環境助成金、及びケンジードーナツ(博多)寄付金を使用しています。

